

5 事業創出活動

□公共経営分野

まちづくり活動

□ひこね街の駅「寺子屋力石」/多賀「里の駅」/足軽辻番所

本学の「まちづくり」活動は、NPO法人彦根景観フォーラム(本学が中心になって2004年8月に設立)と共同して実施している点に大きな特徴を持ち、その内容は3つの古民家(ひこね街の駅「寺子屋力石」/多賀「里の駅」/足軽辻番所)の再生活動、シンポジウムの企画実施活動、まちづくり情報誌発行活動などである。

本年度は本学のまちづくり活動において大きな変化の年となった。一つは連携協働団体であるNPOの理事長・副理事長の改選が行われ新体制に移行したことである。二つ目はこれまで進めてきた活動の成果が目に見える形で現れたことである。三つ目はNPOの新体制の下、これまでの活動のスクラップ&ビルドが行われたことである。順番に説明する。

NPO法人の新体制

平成25年6月22日にNPO法人彦根景観フォーラムの年次総会が開かれた。中心の議題は次期体制に向けた人事である。現理事長の山崎(本学客員教授)と現副理事長の柴田が名誉理事に退き、濱崎現副理事長が新理事長に就任し、新たに石井副理事長(本学専任教授)・堀部副理事長が誕生した。筆者としては肩の荷が下りたと思いつつ、彦根景観フォーラムの更なる発展を願っている。

これまでの活動の成果

本学のこれまでのまちづくり活動について、三つの慶事があった。多賀「里の駅」(旧一圓邸)に関するもの二つ、足軽辻番所に関するもの一つである。

多賀「里の駅」の場と建物を使って農家レストランを経営する「多賀クラブ」に対して、農林水産大臣賞が贈られた。具体的には、「地産地消給食等メニューコンテスト外食・弁当部門」の全国最優秀賞というもの。「多賀クラブ」は里の駅の店子であると同時に、代表メンバーはNPOの会員でもある。また、その活動に対して、本学として物心両面にわたる支援をしてきたこともあって、関係者一同にとって大きな喜びとなった。

二つ目の慶事は多賀「里の駅」を構成する建造物について、国の有形登録文化財に認定されたことである。3月18日の国の文化審議会で旧一圓家住宅主屋、米蔵、文庫蔵、雑蔵・木蔵の計4棟が登録有形文化財として正式に登録されることとなった。われわれが受寄しなければ、廃棄される建造物であった。この登録で再生保全するに値する建造物であることが認められたこと、また、それを可能にしたのはわれわれが5年以上に亘って維持保全し続けたその意思が理解されたこと、等を大変有難く思っている。このケースを一般には滅びゆくと考えられている歴史的建造物の保全活用モデルにしたいものである。

三つ目の慶事は修復完成によって足軽辻番所がオープンするに至ったことである。3月16日足軽辻番所の裏庭でオープニングの式典が行われ、引き続いて記念シンポジウムを屋内で挙行了。筆者が「足軽辻番所オープンまでの道のりとこれからへの期待」と題して参加者全員でのトークを行った。最後に花向けの言葉を贈ったのでそれを掲載する。

「オープンおめでとう。修復が完了しオープンする運びとなった「善利組足軽辻番所および足軽屋敷」は、保存と活用を願う市民運動と市の文化財行政の協働の賜物です。当物件の売却情報がもたらされると即座に、買取りと保

全活用を目的とした募金運動が市民によって始まりました。トラスト運動と呼ばれる活動です。集めた資金を市に寄付し不足分を市が補って、当物件は彦根市によって購入されました。直ちに市の文化財に指定され、同時に「歴史まちづくり計画」において解体修理を行う重要事業に位置付けられました。以降、着実に修復事業が進められ、竣工をみるに至りました。並行して、この物件を、住民で管理運営する方向を考えるコモンズ活動や、耐震応急対策も行われました。この活動から、管理運営を目指す団体やまちづくり・防災を進める組織が生まれました。この建物が地元の人達に愛され、繋がり拠点になること、また、「安全・安心で歴史的風致のまち芹橋」づくりの端緒になることを願っています。」

活動のスクラップ&ビルド

ひこね街の駅「寺子屋力石」を会場に行ってきた談話室《それぞれの彦根物語》が本年度初めの4月20日で記念すべき100回を迎えた。足掛け7年の年月であった。この活動を通して、100人の語り部とそのネットワークに連なる方々と顔見知りになれ、その後多様な関係性を築く切っ掛けとなった。100人目の語り部はNPO法人彦根景観フォーラム副理事長で滋賀県立大学名誉教授の柴田いづみ氏で、一時代を飾った活動のメを務めた。

新体制のもとで、この談話室活動をそのまま継続するか、これからの時代を先取りした新機軸活動を創発するか、見直すことになった。新たに彦根の歴史的景観を題材にした活動の可能性を探ることを優先し、当面は談話室活動を休止している。

これまで実施してきた諸活動をより深化させる活動として、彦根歴史的風致を活かした地域活性化事業を本年度から開始した。ご承知おきのとおり、彦根は「歴史的風致維持向上計画(歴史まちづくり)」において国から第一号に認定され、これにはわれわれのこれまでの活動が大いに寄与したと自負している。それだけにこの計画に記述された歴史的風致を維持向上させる義務があると考え、この計画で重要事業とされた足軽辻番所の改修オープンを見据えて、城下町文化の伝承・普及・啓発を関係団体と協力連携しながら進めることにしたのである。初年度は、辻番所の会、まちかど資料館とともに実行委員会を組織し、文化庁文化芸術振興費補助金事業として始めている。次年度は庭師集団や湖東焼きを育てる会・小江戸ひこね町家情報バンクも実行委員会に参加してもらい、より大きな形で事業を展開する予定である。

(文責 客員教授 山崎 一真)

【2013年度 実施事業】

開催年月日	事業名
ひこね街の駅「寺子屋力石」談話室《それぞれの彦根物語》	
2013.4.20	第100回「まちづくりのかたち 一民・官・産・学+子どもたち」 語り部:柴田いづみ (柴田いづみまちなか研究室代表、結のまちづくり研究所共同代表、 滋賀県立大学名誉教授、NPO 法人彦根景観フォーラム副理事長) 談話室100回記念交流会
多賀「里の駅」《野菜市&集い》	
2013.4.6	野菜市「地元農家の採りたての野菜」・野鳥の森 植物観察会 集い54 お話「多賀町古代ゾウ発掘プロジェクト」いよいよスタート!! 多賀町立博物館学芸員 阿部勇治さん 試食会「春の野草を楽しもう」

多賀「里の駅」《野菜市&集い》	
2013.5.4	野菜市「地元農家の採りたての野菜」・野鳥の森 植物観察会 集い55 お話「多賀木匠塾の10年の歩み」 多賀木匠塾塾長 中西茂行さん（滋賀県立大学非常勤講師） 試食会「タケノコ料理」
2013.6.5	野菜市「地元農家の採りたての野菜」 集い56「みんなで歩こう野鳥の森」 いろいろな具でオリジナルおにぎりを作ろう。新緑の野鳥の森(約4km)を歩きます。
2013.7.6	野菜市「地元農家の採りたての野菜」・野鳥の森 植物観察会 集い57 お話「童謡唱歌で巡る四季」 宮戸有子さん（慶照寺若坊守・ピアノ講師） 試食会「夏野菜いっぱい！」
2013.7.28	『古民家の夏 なつかしい田舎のおばあちゃんの家』 ・自然豊かな里山で虫捕り体験、植物採集 ・覚えていますか?「カロム遊び」 ・昔懐かしい「お菓子」が楽しめる! ・日本庭園の『仕組みを知る講座』 ・近江鉄道模型作りと簡単な理科教室 お昼ごはん「地元野菜たっぷりカレー」
2013.9.7	野菜市「地元農家の採りたての野菜」・野鳥の森 植物観察会 集い58 お話「多賀の民話の紙芝居」 多賀幼稚園保護者サークル「ぶらんこ」のみなさん 試食会「さつまいも料理いっぱい！」
2013.10.5	野菜市「地元農家の採りたての野菜」・野鳥の森 植物観察会 集い59 お話「近江猿楽「多賀座」」 近江猿楽「多賀座」のみなさま 試食会「新米食べ比べ」
2013.11.2	野菜市「地元農家の採りたての野菜」・野鳥の森 植物観察会 集い60 お話「童謡唱歌で巡る四季」 宮戸有子さん(慶照寺若坊守・ピアノ講師) 試食会「炊き込みごはん」
2013.12.7	野菜市「地元農家の採りたての野菜」・野鳥の森 植物観察会 集い61「新そば祭り」 今年採れたての多賀産そばを、多賀クラブの手打ちで味わって下さい!
2014.1.4	野菜市「地元農家の採りたての野菜」 集い62 演奏会「グリム童話とピアノ、チェンバロ、フルート三重奏のコラボ」 彦根にゆかりのある演奏家が集まる、 エコーメモリアル・チェンバーオーケストラ 試食会「七草粥」

多賀「里の駅」《野菜市&集い》	
2014.2.1	野菜市「地元農家の取り立ての野菜」 集い63 お話「桃から生まれる多賀物語」 原田亀雄さん（多賀浪漫亭） 試食会「多賀鍋」
2014.3.1	野菜市「地元農家の取り立ての野菜」 集い64 お話「写真から知る多賀の歴史と文化」 大橋 洋さん（琵琶湖博物館はしかけグループ温故写新） 試食会「多賀にんじん三昧」
足軽辻番所サロン「芹橋生活」	
2013.4.21	第 39 回「彦根藩のさまざまな武士」 青木俊郎さん(彦根城博物館学芸員)
2013.5.26	第 40 回「彦根城外堀の歴史を振り返る」 井伊岳夫さん(彦根市教員委員会市史編さん室副主幹)
2013.6.16	第 41 回「襖の下張より彦根の歴史を学ぶ」 青柳義孝さん(彦根古文書同好会会長、彦根辻番所の会会員)
2013.7.28	第 42 回「彦根城を世界遺産に」 谷口 徹さん(彦根市彦根城世界遺産登録推進室専門員、 NPO 法人彦根景観フォーラム会員)
2013. 10.26～27	第 43 回「平成 25 年度 善利組足軽屋敷特別公開」 同時開催：中敷組瀧谷家「まちかど資料館」(栄町)公開・資料展示
2013.11.17	第 44 回「彦根藩普請方の役割と足軽組」 母利美和さん(京都女子大学教授、NPO 法人彦根景観フォーラム会員)
2013.12.15	第 45 回「暮らしの思い出 古写真サロン」 奥野 修さん(住みよいまち&絆研究所 代表) 笠原啓史さん(NPO 法人彦根景観フォーラム理事)
2014.2.23	第 46 回「戊辰戦争における彦根藩の動向」 小林 隆さん(彦根市教員委員会市史編さん室室長補佐)
2014.3.16	第 47 回 辻番所シンポジウム 講演①「足軽辻番所オープンまでの道のりとこれからへの期待」 山崎一真(滋賀大学客員教授・NPO 法人彦根景観フォーラム名誉理事) 講演②「彦根市歴史まちづくり計画について」 谷口 徹(彦根市彦根城世界遺産登録推進室専門員、NPO 法人彦根景観フォーラム理事) 会場：善利組足軽辻番所・旧磯島邸
彦根歴史的風致を活かした地域活性化事業(文化庁文化芸術振興費補助金事業)	
2013.6.10～ 2014.3.31	1. 歴史・文化遺産に関する総合的な情報発信 ①「彦根文化遺産MAP -足軽組屋敷編-」制作 ②「彦根文化遺産.net」ホームページ制作 URL http://hikone-bunkaisan.net/

彦根歴史的風致を活かした地域活性化事業(文化庁文化芸術振興費補助金事業)	
2013.6.10～ 2014.3.31	<p>2. 古文書の解読を目指す人材育成事業 彦根市指定文化財旧瀧谷家伝来の古文書整理および古文書勉強会 第1回 2月16日 第2回 3月9日 第3回 3月15日</p> <p>3. 文化財建造物を活用した普及啓発事業</p> <p>①彦根藩足軽中藪組瀧谷家「まちかど資料館」屋敷公開および資料展示 第1回 10月26日・27日 第2回 3月15日・16日</p> <p>②瀧谷家「まちかど資料館」講演会 3月15日 谷口徹「瀧谷家伝来資料について」 3月30日 谷口徹「彦根城を世界遺産に」「湖東焼の盛衰と美」</p> <p>③足軽辻番所サロン「芹橋生活」開催(前項参照)</p> <p>実施団体:彦根歴史的風致活用実行委員会 構成団体:彦根辻番所の会・彦根藩足軽中藪組瀧谷家「まちかど資料館」 NPO法人彦根景観フォーラム・彦根市教育委員会文化財課</p>
町家活用	
2005.10.16～ 2008.3.16～ 2012.11.3～ 2008.9.11～ 2008.12.26～	<p>ひこね街の駅「寺子屋力石」 場所:花しょうぶ通り商店街</p> <p>ひこね街の駅「戦国丸」 場所:花しょうぶ通り商店街</p> <p>ひこね街の駅「逋信舎」 場所:花しょうぶ通り商店街 管理運営:LLP ひこね街の駅</p> <p>多賀「里の駅」一圓屋敷 場所:多賀町一円 149 管理運営:多賀クラブ</p> <p>善利組足軽屋敷「辻番所」 場所:彦根市芹橋 2 丁目 5-19 管理運営:彦根辻番所の会</p>
彦根まちづくり情報誌『きらっと彦根』	
20013.5.1	通巻 32 号 足軽遺産を守り、活かし、育てる 「足軽・辻番所サロン」で見えてきた「歴史まちづくり」
20013.7.20	通巻 33 号 彦根景観フォーラム この一年のあゆみ 「平成 25 年度総会から」
2013.11.1	通巻 34 号 彦根のヴィスタ・ポイントを探せ！ 「城と町」の景観を見直そう
2014.1.25	通巻 35 号 彦根のヴィスタ・ポイントを探せ・2 歴史景観を見直し、美しいまちをつくろう
ブログ	
通年	http://hikonekeik.exblog.jp (2013 年まで) http://hikone-keikan.seesaa.net (2014 年 3 月～)
定例会議	
通年	毎月第 3 金曜日 19:00～21:00